

令和2年

第7回(定例会)東かがわ市教育委員会議

会議録

令和2年4月27日(月)

出席構成員			
東かがわ市教育長	竹田 具治		
委員(教育長職務代理者)	向山 正裕		
委員	大久保 尚子		
	山本 勝博		
	椋原 文子		
欠席構成員			
説明のため会議に出席した者の職氏名			
教育部長	中川 敬彦	学校教育課 主事	土井 直樹
学校教育課長	片山 竜治	子育て支援課 副主幹	六車 憲二
生涯学習課長	中川 晃代	子育て支援課 主事	竹中 愛依里
子育て支援課長	川田 真一		
学校教育課 副主幹	水口 由美子		
学校教育課 副主幹	岸本 禎		
学校教育課 副主幹	安本 薫		
職務のため会議に出席した事務局職員の職氏名			
学校教育課 副主幹	水口由美子		
会議録署名人			
教育長 竹田 具治、委員 山本 勝博			
事務局担当書記	学校教育課 副主幹 水口由美子		

【特記事項】 傍聴人:0人

## 議 事 日 程

日程第 1	会議録署名委員の指名について		
日程第 2	会期の決定について		
日程第 3	令和 2 年第 5 回（定例会）東かがわ市教育委員会会議録の承認について		
日程第 4	教育長報告		
日程第 5	専決 処分 承認	第 1 号	学校・幼稚園・こども園の主任等の任命について
日程第 6	報告	第 1 号	史跡引田城跡保存活用計画策定委員の委嘱について
日程第 7	報告	第 2 号	平成 31 年度学校評価書の公表について
日程第 8	報告	第 3 号	東かがわ市学校医の委嘱について
日程第 9	報告	第 4 号	東かがわ市各種委員等の委嘱について
日程第 10	報告	第 5 号	会計年度任用職員の任用について
日程第 11	報告	第 6 号	区域外就学者の報告について
日程第 12	報告	第 7 号	令和 2 年度東かがわ市要保護及び準要保護児童生徒の認定状況について
日程第 13	報告	第 8 号	さぬき・東かがわ採択地区協議会委員の推薦について
追加日程 第 1	議案	第 1 号	史跡引田城跡保存活用計画策定の諮問について

### 【議 事 内 容】

---

（午後 1 時 3 0 分 開会）

■日程第1 会議録署名委員の指名について

教育長が、本会議の会議規則第6条の規定に基づき、竹田教育長と委員の中から1名、山本委員を指名。

■日程第2 会期の決定について

教育長から、本会議の会期について1日でよいか意見を求める。

<質疑>

- 委員 1日です承。

■日程第3 令和2年第5回（定例会）東かがわ市教育委員会会議録の承認について

学校教育課長から会議録について説明。

<質疑>

- 特になし。

■日程第4 教育長報告

竹田教育長から、4月（3月25日から4月27日）に出席した行事等について報告。

また、今後の予定について報告し、質疑を求める。

<質疑>

- 特になし。

■日程第5 専決処分承認 第1号 学校・幼稚園・こども園の主任等の任命について

学校教育課・安本副主幹が説明。

<質疑>

- 特になし。

■日程第6 報告 第1号 史跡引田城跡保存活用計画策定委員の委嘱について

生涯学習課・中川課長が説明。

<質疑>

- 教育長 保存活用の計画で、期間は2年間、専門家の方も交えての委員会ということになります。

■追加日程第1 議案 第1号 史跡引田城跡保存活用計画策定の諮問について  
生涯学習課 中川課長が説明

<質疑>

- 特になし。

■日程第7 報告 第2号 平成31年度学校評価書の公表について  
学校教育課 岸本副主幹 子育て支援課 竹中主事が説明

<質疑>

- 向山委員 30ページ、引田中学校の学校関係者評価が入っていません。32・33ページの評価項目の下の欄に空白があるので、項目が無ければ斜線を入れたり詰めた方がよいと思います。  
学校評価と関係者評価の仕方はどうなっていますか。以前は学校が評価せずに関係者に評価してもらっていましたが。
- 山本委員 昨年と今年度の評価を一覧にして比べてますと、よく似た感じですが、大内小学校ではCという評価がありました。白鳥中学は去年はすべてB評価でしたが、今年度は学校関係者がA評価で出て来ます。この中で、非常に判断しにくいところがあって、例えば、9ページ、引田小学校は確かな基礎学力の定着ですが、計画的に行われているかという質問に対して、できているとなっていますが、白鳥小学校など他の学校をみると、上の質問事項をそのまま計画的に行われているか、次に、できたか、という表現で、できたかできなかったのかはABC表示で分かると思いますが、引田と白鳥は、できている。とか図られている。というので判断は付きやすかった分、よくわかりました。  
個別な所で見ると、10ページ、施設・設備の、毎月の安全確認を確実に実施、危険場所や破損箇所は早急に修繕できている。とありますが、できているのにAではなくBになっており、14ページに関連していますが、児童の目線で安全点検を行い、早期修繕に努力しているのにBになっている。これは一部できてないからBになったのか。それぞれの評価の仕方が疑問に思いました。

25 ページの教職員の働き方改革のいちばん下ですが、保護者、地域の方へ、働き方改革について周知が出来ていないと言うことでCという評価がありますが、次の 26 ページ上、保護者・地域との連携はすべてAで地域の人との連携が上手くできているのにこのような評価になったのか個別なところで疑問に思いました。

39 ページの上、確かな基礎学力の定着で自己評価がすべてBであるのに学校関係者の方がAになっているのは評価の仕方が疑問に思います。すべてBならば学校関係者の評価はBになるかと思いがわかりません。質問に対して回答し、評価を入れる方が分かりやすいという気がします。昨年と同じような所はありましたが昨年は右の欄に細かいことも含めて沢山書かれておりましたので理解してきましたが、今年度はそれも無く疑問に思います。

○岸本副主幹 評価の仕方は学校によって別々で、まず、先生方が評価してから学校関係者の評価をうけるという形になっていきますので、統一して検討し、協議して改善できる形にしたいと思います。

○山本委員 評価の項目の中に「行われているか」という問いに「行われている」「できている」としている学校が2校ほど、それ以外は同じように「行われているか」に対して「できたか」という質問形式になっているので、評価項目の内容のところはどういうふうにした方がわかりやすいでしょうか。

○岸本副主幹 ここも校長先生方と相談させていただいて統一していきたいと思えます。

○山本委員 全て質問に対して答えというふうにできたら見ていく中で、分かりやすいと思えます。

○教育長 評価の表現の仕方をどういう形で、大きな項目ごとに設問があるので、それを受けてどうしていくか、共通していくようにしたらと思えます。

○山本委員 引田と白鳥小学校は見ていたら、行われているかに対して、行っているといった表現になっていました。それ以外はほとんど説明と同じように「か」という疑問がついていましたので。C評価が大内小学校だけでしたか、それが気になりました。アンケートなどは回収率も良かったと思えます。

○大久保委員 課題と成果のところを、ページ数を沢山さいてくれている学校とそうでない学校があって、単に量が少ないから悪い、多いから良いというのは難しいと思えますが、学校によってばらつきがあるように思えますが、見る方としてはたくさん細かいところを書いている方

が、学校のことがよく分かります。

今年度から白鳥校区がまとめて一つの学校になりましたが、次年度の思い入れの重点や意気込みなどが少し入っていたら良いと思いました。

- 榎原委員 学習に関する内容という項目がありますが、小学校は全部、教育課程特例校としての取り組みになっていますが、中学校は、総合的な学習の時間に向けたコミュニケーション活動の取り組みとタイトルがついています。引田中学校は教育課程特例校の取り組みで小学校と同じタイトルになっていますが、これはどうしてでしょうか。
- 岸本副主幹 特例校は小学校だけです。中学校はコミュニケーション活動の総合的な学習で取り入れていますので間違いです。
- 榎原委員 課題と成果のところで、14 ページの上から3行目、つぶやきをいかにしたい。の「し」がとんでいます。
- 山本委員 先程の大久保委員さんに関連して、次年度の取り組みの重点目標や達成目標などは、統合された学校長が調整されて新しい学校に引き継ぎされているのでしょうか。
- 岸本副主幹 はい。1月から3月にかけて重点的に集まり、打ち合わせをしています。
- 教育長 学校別を書く方がいいのかどうか。
- 山本委員 それも一つ疑問に思いました。来年度に向けて、この中でまとめて出てくるのかと思っていましたので期待はあったんですけども。話し合いができていたのであれば分かりました。
- 岸本副主幹 ここでは、各学校での取り組みということで書いております。
- 教育長 続いて、幼稚園、こども園についてはどうでしょうか。
- 山本委員 小学校でも申し上げましたが、たとえば、本町幼稚園では、確かな基礎学力のところで、計画的に行われているか、これに対してそれぞれ「されていたか」「いたか」でこういう評価になっていますので、できているのであれば「できた」できていないところは「できていない」と書けばよいと思います。また、自己評価がBなのに学校関係者がAという評価をしている。視点がちがったところで見られたのかと思いました。
- 向山委員 空白を直していただきたいのと、大内こども園で見ただくと、幼稚園レベルで確かな基礎学力とはひっかかります。先程山本委員がおっしゃっていましたが、47ページ、自己評価がCとBであるのに学校関係者の評価はAになっています。これの評価のし方はどうされているのかを教えてください。確かな基礎学力の定着の

ところで、「育てたい子どもの姿と子どもの興味関心を重ねた保育を計画できたか。」の項目がCとなっている。ここがCということであれば48ページの自己評価のところに出てきてもいいのではないかと思います。厳しい評価なので、それをどうするのかと言うことが書かれていないのは気になりました。

本町幼稚園の、アンケートで園行事の上から4行目、園行事の内容のAとBが約89%ですが、最後の「園行事の回数を減らしてほしい」と、相反する意見が出ているので、それぞれの行事の狙いは何か、どんなところを見てもらいたいだとかもっと保護者にアピールして理解してもらうようにして、今後、連携や学校経営などと連動してくるのではないかと思います。

○大久保委員　　こども園、幼稚園の保護者へのアンケート結果ですが、園として数値の低いところも示していただけたらと思いました。

保護者の方からの希望が書いてありますが、それに対しての答える的なものを加えてあげられたら、お答えできることはそこにも示してあげればと思いますがどうでしょうか。

○六車副主幹　　委員ご指摘のとおりですので、これから園長会等々で、ご指摘の部分は訂正するよう考えています。

○大久保委員　　見た方が納得していただけるようにしていただけたらと思います。

○檜原委員　　こども園、幼稚園であるのに学校の概要であったり学校教育評価と学校がついているのはなぜかと思って読みました。様式に当てはめていますが、学校では園ならではの言葉で、無理に学校という言葉は使わなくてもいいと思いますが。

こども園、幼稚園独自の言葉に変えた方が良くはないかと思えます。丹生こども園の副園長が2名になっています。

○教育長　　いくつかありますが、まず様式が学校と共通した形で同じものを使っているということですがそれについてはどうですか。

評価は、園の評価と関係者の評価が全く違うのもあったりするのでそのあたりの、整合性Bばかりの評価がAになっていたりがありますが。

○六車副主幹　　幼稚園、こども園につきましても、小中学校と同じく評価の順序、方法等は特に指定はしておりません。今後、園長会等で施設間にはばらつきがないようにさせていただこうと考えております。また、評価者の方と自己評価につきましても、両方で話し合っ、できる限り整合性が取れるようにしていきたいと考えております。

○山本委員　　44ページですが、「子どもの挨拶、早寝早起きの習慣」のところで

引田こども園ですが、本当は一番定着してほしいところが60%から70%台というのは、この時期に早寝早起き等、きちっとされたいのではないかと思います。引田幼稚園だけこんな結果が出ていますが、他の本町・大内・丹生についても生活習慣の率は60%から70%台くらいなんでしょうか。

- 六車副主幹 それぞれの施設の項目の率については確認はしていませんが、今後この率が少しでも上がるように周知、徹底いたします。
- 山本委員 これが小学校に繋がっていきますから、その時期に、特に年長組ですよろしくお願ひしたいと思います。
- 向山委員 評価項目をもう少し園の方で考えていただいて、今の家庭との連携、地域との整合性をはかっていたきたいと思います。事務局には様式や内容の確認をしていただきたいと思います。
- 教育長 今たくさん出ましたが、改める部分もありましたし、幼稚園、こども園としての評価の一番大事な部分は来年よりよい方向へいくというのが一番の目標なのでそれにプラスになるようなそんな評価をしてほしいと思います。項目や様式も含めて、今後協議していただけたらと思います。
- なおせる部分はすぐに修正訂正したら良いと思います。
- 中川部長 訂正できるところは公表するまでに修正できますね。例えば、園の評価書の学校の概要の所は学校という言葉をとって施設にするとか。
- 岸本副主幹 はい。
- 檜原委員 施設、整備のところは児童生徒になっているので園児に修正した方が良いと思います。
- 教育長 公表までに可能なところを修正して下さい。

■日程第8 報告 第3号 東かがわ市学校医の委嘱について

学校教育課 水口副主幹が説明

<質疑>

- 特になし。

■日程第9 報告 第4号 東かがわ市各種委員等の委嘱について

学校教育課・片山課長が説明

<質疑>

- 檜原委員 学校ではないのに学校評議員と付けるのはどうなんでしょうか。幼

稚園、こども園という方がいいのではないのでしょうか。何か違和感があります。

- 教育長 法令では学校評議員となっています。
- 川田課長 幼稚園も学校にありますし、こども園は児童福祉施設でありながら学校でもあるということです。
- 樫原委員 65 ページの学校評議員なのですが、引田は小中学校で6名、白鳥は今年から小中学校になっていますが、一緒にはできないのですか。小学校、中学校に分かれてこれだけの人数になっているのでどうなのかと思います。
- 片山課長 学校に確認しましたが、白鳥は小中学校分けて評議員を設けたいということで、回答いただいております。
- 向山委員 新たに小中学校になったので、引田と併せて小中学校で同じ物差しで会を開催し、協議していただきたいと思いますが。
- 樫原委員 会を持つときも別になりますか。
- 片山課長 そうなるとはありますが、学校とも協議し方向性を考えて行きたいと思います。
- 向山委員 会を開催するときは、分けるのではなく同じ会の中で話をしていたくようお願いしたいと思います。
- 教育長 学校と協議しながら進めていただきたいと思います。

■日程第10 報告 第5号 会計年度任用職員の任用について  
学校教育課・水口副主幹が説明

<質疑>

- 特になし。

■日程第11、12、13については、非公開とする。

午後2時36分 閉会

---